

労働者、サラリーマン、自営業者、主婦が語る83年 えらい世の中になってきた

気をひきしめてたちむかおう

生活は悪化し、世の中は息苦しくなるばかり。それでもみんな、冷静に現実をみつめ、心をひきしめてこの現実に向き合っている。
さまざまな人々が語る八三年。

パートの仕事 をロボットが

コンピュータを売る側の方からすれば、特にパソコンを中心に乱売に一層拍車がかかる。分野別に言うと、大企業等の事務部門はほぼコンピューター化が済んでいる。八三年は品質管理、郵便等も含めた通信部門、エアコンなど環境整備部門、印刷などで、高度なコンピュータ化が急速に進むだろう。中小企業のロボット導入も確かに進むが、ただしこれは、元請の会社がどんな方針なのか、

全体の底上げ をしない

運動の全体的な地盤沈下の影響が大きい。個別ではあれ、様々な分野で闘いがあつた時は、それが相互の闘いを支え合っている。それがまたある程度の基盤となり得た。今、少数でやろうとしても、ケンカにならない。そもそも敵が相手にしてくれない。組合で言えば、全体の底上げを考えていかねばどうしようもないと思うが、糸口がなかなかつかめない。
生徒を見てみると暗

どれ位の仕事を委託するかによって左右される。ロボット業界が狙っているのは欧米の方だ。それでも、現実には、パートの人がやっていたような仕事は、どんどんロボット化・コンピュータ化されていっている。

コンピュータに関する今までの議論は、どうもSFの世界が半分混ざったようなものになっていく感じがする。導入する側の意図、現実の影響など、事実に基づいて考えていく必要がある。

時給のええパート ないかな

家の近くで梱包の仕事をしているけど、仕事がある時とない時があるね。子供が三人とお婆ちゃんがいるから、遠くへは行けへんし、近くの

下部組合員が 動きはじめた

「現場協議」が無くなった。この「現場協議」を

スナックに行こうかと思うてんねんけど、近所の手前そんな所に働いたらうるさいしなあ……。おとうちゃんも今さらええ給料の所に移られへんし、家のローンも残ってるし、子供が育ちざかりでしょ、ご飯食べるねん。どこかにええ時間給のパートないかなあ。

勉強せにやや ってゆけない

今年(八二年)は、年末になつてもほんま卵が値上りしまへん。去年の年末はやつとなんとかもったつたやけど、今年はその分全部吐き出して、それ以上に出費してまんねん。どっかで借金しなきゃまへん。

来年いつぐらいに卵の値が上がるか、来年一年予想しとかへんかつたら、借金だらけでつぶれてしまますわ。わてら学の

中央市場だつて 安泰じゃない

私のいる店では、年末までの売り上げがその前の年と比べて一割減つただけだが、利益は三割以上も減つている。

その原因は、高いものがあまり売れなくなったこと、小売業者が安売りせざるを得ないので、中央市場としてもこれまで通りの利益をとつていない。客を逃がしてしまつたことらしい。

何とか細々と でもガンバル

私の店は常連客を相手に細々とやっているのだけれども、景気に関係なく売上げが一定していたのに、十一月になって急に落ち込んでしまった。

昼食時や夕方の方のピークがないのだ。みんなちゃんとした食事は家で食べているみたいだ。

産直など市場 開拓に必死

客観的に言えば、かなり典型的だが、僕の行っている漁協や水産業者は、高度成長時代に漁れただけ漁つたツケが一気に出てきていたという状況だ。つまり、乱獲

高値・消費者の魚離れ一挙両得、という悪循環を打開する道がなかなか

ヒールを飲んでいたサラリー マンが、今では定食だ

けしかとらないとボヤいてた。

うちはだつてラーメンやギョーザの出前ばかりで、腰がいたくなるだけで全然もうからない。

何をするにしても、何 か新しいものを始める時

は、期待と不安で胸が熱くなるものである。中曾根にしてもアンドロポフにしてもそうであろう。

国民をどうだまぐらしてやるのかと、中曾根は中曽根流で、アンドロポフはアンドロポフ流で、手を変え品を変えやってくる。やることは違ってくる。ヤツらも私と同じ気持ちである。だがヤツらは、やり方がまずいからクビがとんでしまつたという厳しい立場に立たされている。それに比べて、私たちが活動家と呼ば



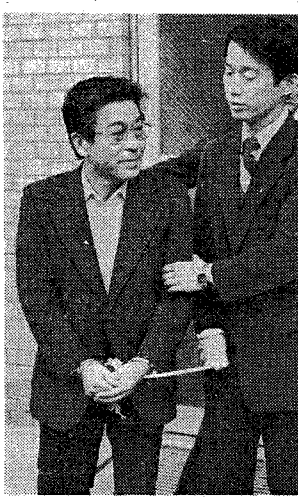
▲世界中に反核の波が、今年は一層大きな波に



▲炊出しー今日も釜ヶ崎では生き抜くための闘いが



▲一人になるとアラレチャンだけがたたり



▲権力の腐敗は末端にまで。元同僚を逮捕

▼敵を倒すには、相手以上に自分がいざという立場に置かれていなければならぬ。それによって勝敗は決まる。いま私たち労働者の置かれている立場というものを、今後新聞を通じて読者とともに明らかにしていきたい。ヤツらの手口、やり口をさらけ出していきたい。それをするにによって、勝利への糸口がつかめるのではない。私はこの新聞づくりを、常にがけつぶち立っている心境でやっていきたい。



▼今号から新しい新新聞の始まりである。その名もある新人民新聞第一号のコラム欄を私が書くことになった。まるで初夜を迎える新妻のような気持でペンをとった。

職場通信

建築現場は今

先日、ひさしぶりに前の工事現場に行くと、現場の前に建設材料が散乱しているの、ガードマンに事情を聞くと、M組が倒産したので、材料を引き取りにこないんだ、といった。

M組というのは、ある大手建設の下請で、仮寮工事の業者で、主にマンション等の仕事をしていて、毎日、新聞紙上で、会社倒産・経営危機等々の記事が、日常茶飯事のごとくにぎわしているが、他人ごととしてしか、思えなかった。しかし、実際に目の前で起きると、

明日は我が身かもしれないと、不安でしようがなかった。

いわゆる職人と呼ばれている人達は、自分もふくめて、雇用保険のない所がほとんどなので、いったん会社が倒産すると明日から飯が食えなくなり、一家が路頭に放り出されるはめになる。

全国で、二千万人といわれている建設労働者のほとんどが、その日暮しの状態におかれている現在、まず自分の回りから命と暮しを守る闘いに取組んでいかねばならぬと痛切に感じました。(B生)

三十代の悩み

先日ある総評系の組合の忘年会にさそわれて出てきました。

ただいっばい飲むだけだと思ったら、ロックバンドまででえらい騒ぎでした。組合の中軸をなす人たちがみんな三十代のものばかりで、その上も下もないなかでなんとかがいものを引きつけようとしているのだなあと感心しました。

けれど、のって騒いでいるのはやっぱ三十代なのです。日頃のウツプを一番うちにためこんでいるのも三十代なのか？

しかし日頃余り元氣そうに見えない彼らを見るにつけ、組合外の人までよんで職場の食堂でこれだ



こんな職場もある



私の勤める会社は、従業員六人の中小零細企業で、職種は制御盤を作っている。私も含めて全員勤続年数が浅い。長い人で一年半位である。入れ替りが激しいのであろう。その原因の一つにこういう職種の会社が多いのではないかと考える。

私は勤めて半年、だいぶ仕事にもなれた。周囲の雰囲気にもなれた。いろいろな不満やはらのたつことができた。その一つに給料の明細の事、私の給料は、月十九万。残業してもなくても同じで独身にしてはまあまあだと思える。その給料明細がないのである。保険、所得税、交通費等の明細がないのである。用紙には十九万だけが記入されているだけである。

それが一点ともう一点は仕事のことですが、社長が仕事をやりすぎるので私達のやる仕事がなくたってしまっている。例えば、納期のせまっている仕事があれば私達の帰った後、社長と現場責任者と二人で徹夜して私達のやり残した仕事をやってしまっている。朝、出勤してくると私達のやる仕事がない。しかたなくて、三時間ブラブラする。こういったことがあるのである。

こういう問題について話せるような人は現場にいない。みんな自分中心だ！(N生)

釜ヶ崎地域合同労働組合では賃金不払、暴力事件、労災もみ消し等の労働相談を受けつけ、無料で事柄の解決にあたっています。

釜ヶ崎

開きなおる悪徳業者

この欄では毎回一例とあり紹介していきたいと思えます。

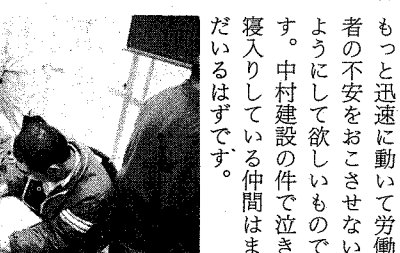
——個人で行けば元請責任を回避する悪徳業者——

中村建設(東淀川区)はトビ職のみを雇っている下請業者ですが十月二十五日倒産しました。現場監督からそれを聞いた労働者は十月分の賃金が支払われるのかどうか不安になりました。長期契約の労働者はかなり長い人は七年も働いています。十一月三日、飯場から

金を支払うよう要求しました。各現場の各元請業者はスナナリと賃金を支払い、日雇労働者保険者手帳の印紙もはって安くなりました。しかし中村建設の正職員であり現場監督のMさんがOさんWさん以外の

責任は法に明示されています。組合は抗議の電話を入れ全額支払うよう確認させましたが、これは個人的にでかけて行つて足もとをみられた例と言えるでしょう。

釜ヶ崎地域合同労働組合の事務所は労働相談の人でいっぱい



裁判の公正はインチキ

農協闘争刑事弾圧裁判始まる

昨年暮の北合同弾圧事件。労働争議中の農協分会員二名を含む、七名も不当逮捕、デッチ上げの「背任事件」の第一回公判が、先日、大阪地裁で行なわれた。

起訴後、実に一年ぶりである。この一年間、我々が証拠の開示を要求し続けたにもかかわらず、検察が提出した調書は、農協の参事一名だけで、あと数十人にのぼる「関係者」と彼らが呼んでいる

起訴状には岡田は自己の任務にそむき×××の任務にそむき×××と書いてある。本当のところ、検察は次のように書けばよかったのだ。岡田

要するに、自己の任務に反する行為は「背任」だ。自己の任務の内容を決めるのは検察であり告訴した経営者だ。しからば、背任とは、やつらが本音を吐露し、馬脚を露した動かし難い証拠。我々にとって、労働組合を弾圧する彼らこそ、労働者に対する、人類に対する背任である。

裁判の分断機能と偽敗

裁判とは儀式である。こつこつと同時進行に恐ろしい儀式である。命を奪うことも刑務所へほうり込むことも、

今回の公判には40名以上の仲間が出席があった。裁判をくささせないためにも、検察・警察の背任を明らかにするために北合同は公判闘争を果敢とるものにする考えです。

次回公判 一月二十七日 午前十時 大阪地裁 八〇四号法廷

証言

はじめに

この欄は戦前、戦後の激動期を生きた人々の体験談です。いくら歴史の教科書を書き換えようとも個人の体験は変わりません。この欄から未来への教訓をつかみとりたいと思っています。最初に登場していただくのは豊中市在住のNさん。現在七〇才です。

生いた

僕は伊勢の貧農の子供でした。十人兄弟の四番目という事らしいのですが、死んだ者が多くて、実際に五人兄弟だった。貧乏人の子沢山というやつだ。

親は無学文盲で、親戚の土地を少し借りて耕していたが、それでは食えないので人力車をやっていた。今で言う兼業農民というやつだ。

兄弟の中で自分だけ中学校へ行けたが、親がガンを死んだため二年生で中退した。

その頃、兄が京都の市電にいたので、その兄をたよって京都へ行き、市電の試験を受けた。兄が比較的まじめに働いていたという関係もあったのだらうが試験に受かり車掌になった。

昭和二年のことだから昭和の大恐慌(昭和三年)の直前だった。

市電に入

当時僕はまだ十四歳から少年車掌(正式には補助車掌)とよばれ、交叉点に立って乗客を乗せたり降ろしたりする仕事だった。

日給は一円二十銭で、当時としては、わりと良い方だった。土方仕事の日給一円ぐらいいで、それで妻を養っていたのだ



メーデーのデモ隊と京都市電(昭和6年)

僕はむずかしい事は良くわからないけど、本を読むのだけは好きで、読んだら、河上博士の「貧乏物語」なんかを読んで人道主義者になったわけだ。

同じ職場で働いていた奴が救世軍に入っていて、その影響で自分もクリスマスチャリティになったつもりでいた。

そんな関係で社会主義というものは恐ろしかったが、関心はあった。やっぱり労働者の事を問題にしていたからだ。

職場には四・一六事件で逮捕された人がいて、その人はエライ人もボロクソにやつつける代りに、同じ労働者に対しても意見が少しでも違えばコテンパンにやつつけてしまっていた。

だから話を聞きたくてもおっかなくて聞けなかった。

新左翼の活動家とよくにらめっこしていた。

当時の労働農民党は、共産党の指導をうけ、大衆の中へというスローガンをかかげていたが、そんな事は実際には行なわれていなかった。

(つづく)

今年はどうなる

世界

「反核・軍縮」

昨年、国連軍縮総会などおこなわれたが、実現はできなかった。今年、それが実現する可能性がある。米ソ両国首脳とも経済の回復と軍縮を求める人たちの声を無視して政治が動きなくなっているからだ。ア

「国際金融危機」

メキシコ、ブラジルなど中南米諸国で発生した対外債務不履行は、国際金融危機に発展すると懸念されたが、一応当面の不安は回避した。国際通貨基金(IMF)を中心

「第二バナマ運河」

中央アメリカ全域で展開する解放闘争の行方にも鋭い監視の目を。レバノン侵略とベイルート虐殺に対しても、道徳的非難でしか対応できなかった側、世界的規模



をうける国の経済はIMF先進国管理になるわけ、厳しい緊縮政策が実施される。これらの諸国で失業と飢餓がさらにつよまり、解放運動は世界的な金融支配網からの自立をかけるようにな

日本

「軍備増強・改憲」

政治力が落ち目のレーガンは、何としても選挙民向け得点かせぎの場が欲しい。手ぐすねひいて待つところへ中曾根は飛び込む。レーガンは「共和党内派と最も太いパイプを持つているのは岸信介。その娘婿・安倍晋太郎が外務大臣。鈴木と違って、日米間がギクシャクしないようにレー

「行政改革」

東アジアの政治指導者はこれをどうみているか、マルコス比大統領側近のT・バレンシアの発言を紹介しよう。(毎日新聞十月三十日)

「失業」

「来年は雇用対策が企業経営上の大きな問題になる」(石井正巳三井物産副会長)と指摘する経営者があふれている。住友金属工業の熊谷典文社長もその一人。

新聞切抜き帖

新しい「人民新聞」の出版

(1)

一九八三年新春とともに「人民新聞」は再出発する。「新しい人民新聞を創る会」が組織され、今後その責任のもとにこの新聞は発行される。何

(2)

何故混乱激動が避けられないと見るか、言うまでもなく根本は世界経済の行き詰まりにある。一向に出口が見えないだけでなく更に悪化の兆しを見

(3)

ただわれわれにできること、又は非共やならなければならないことは、またまた、根本的な解決策はおろか、むしろそれ

(4)

したがってこれから創られてゆく「人民新聞」は、新聞としてだけでなく立派な出来栄である。か、どんなに素晴らしい論説や記事があらわれるかというような事を目ざさない。何よりもまず、この新聞がどれだけ多くの人々の生きた実感、努力とエネルギー協力活動を集めて作られてゆくか

社説

一九八三年新春とともに「人民新聞」は再出発する。「新しい人民新聞を創る会」が組織され、今後その責任のもとにこの新聞は発行される。何

何故混乱激動が避けられないと見るか、言うまでもなく根本は世界経済の行き詰まりにある。一向に出口が見えないだけでなく更に悪化の兆しを見

ただわれわれにできること、又は非共やならなければならないことは、またまた、根本的な解決策はおろか、むしろそれ

したがってこれから創られてゆく「人民新聞」は、新聞としてだけでなく立派な出来栄である。か、どんなに素晴らしい論説や記事があらわれるかというような事を目ざさない。何よりもまず、この新聞がどれだけ多くの人々の生きた実感、努力とエネルギー協力活動を集めて作られてゆくか

したがってこれから創られてゆく「人民新聞」は、新聞としてだけでなく立派な出来栄である。か、どんなに素晴らしい論説や記事があらわれるかというような事を目ざさない。何よりもまず、この新聞がどれだけ多くの人々の生きた実感、努力とエネルギー協力活動を集めて作られてゆくか

したがってこれから創られてゆく「人民新聞」は、新聞としてだけでなく立派な出来栄である。か、どんなに素晴らしい論説や記事があらわれるかというような事を目ざさない。何よりもまず、この新聞がどれだけ多くの人々の生きた実感、努力とエネルギー協力活動を集めて作られてゆくか

したがってこれから創られてゆく「人民新聞」は、新聞としてだけでなく立派な出来栄である。か、どんなに素晴らしい論説や記事があらわれるかというような事を目ざさない。何よりもまず、この新聞がどれだけ多くの人々の生きた実感、努力とエネルギー協力活動を集めて作られてゆくか

したがってこれから創られてゆく「人民新聞」は、新聞としてだけでなく立派な出来栄である。か、どんなに素晴らしい論説や記事があらわれるかというような事を目ざさない。何よりもまず、この新聞がどれだけ多くの人々の生きた実感、努力とエネルギー協力活動を集めて作られてゆくか

したがってこれから創られてゆく「人民新聞」は、新聞としてだけでなく立派な出来栄である。か、どんなに素晴らしい論説や記事があらわれるかというような事を目ざさない。何よりもまず、この新聞がどれだけ多くの人々の生きた実感、努力とエネルギー協力活動を集めて作られてゆくか

あなたの運動の原点を聞かせて下さい

淀川水問題を考える連絡会

◆第1回

本間 都さん(47)

問 現在の運動をやり出したきっかけは何だったのですか。

本間 七年ほど前に友人に誘われて、五、六人の集りで使い捨て時代を考へる会の榎田さんの話を聞きました。六〇年安保の時に少しやってみましたが、その後結婚してからは本当に家庭に閉じこもりきりの主婦だったんです。ところが榎田さんに「今の私たちの生活は利己的でせつなです」と言われて、それまで当たり前だと思っていた自分前だと思っていた自分

がんばってます

豊能障害者労働センター

私達の労働センターに小泉くんという十九歳の脳性小児マヒの男性がいます。二年ほど前、彼は茨木養護学校に在学していましたが、私と出会った時、学校卒業後の進路について悩んでいました。

小泉くんに対して学校から示された進路は、施設か在宅かの選択だったのです。彼は別に犯罪者でもなんでもないのです。ただ障害者であるという理由だけでその二種類の

こといいから変えてみない。そうしたら全てが変っていきから」と言われまして。今思うと、本当にそうですね。

淀川の堤防に立って初めて “この水を飲んで”と実感

そうして使い捨て時代を考へる会の仲間になつて、そうこうしているうちに、水道水の中に発ガン物質(トリハロメタン)が入っていることを知ると、「どうしてそこまでするの」とか「生活をくずしてまで」とかという言葉をよく聞きます。

私達は特別な人間でもないし、特別な仕事をしているわけでもないのです。障害者と健全者が当り前のつき合いをしな

と、「どうしてそこまでするの」とか「生活をくずしてまで」とかという言葉をよく聞きます。私達は特別な人間でもないし、特別な仕事をしているわけでもないのです。障害者と健全者が当り前のつき合いをしな

障害者と共に働くって

当り前のことだと思ふのです

私達はいつもその怪しげな言葉について考えま

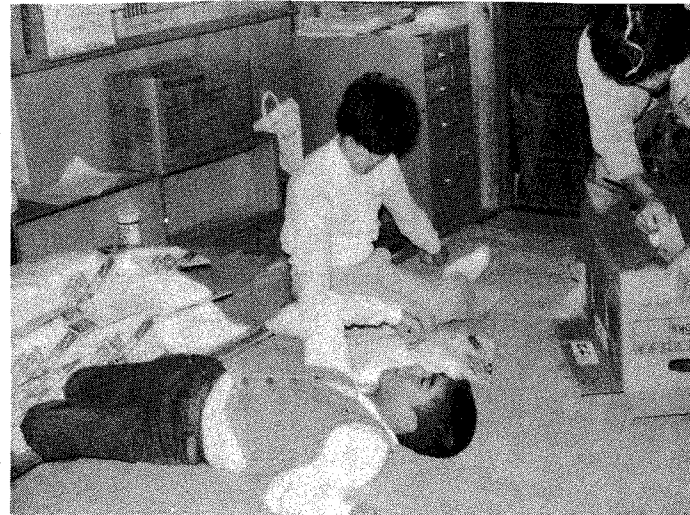
私達はいつもその怪しげな言葉について考えま



田畑の借入地(約一ヘクタール)、肥育牛四十頭、豚七十頭などを飼育しています。

農村の老齢化

大阪府下でも、あちこちの村で、小さな酪農家、養豚家が次々とやめてい



ていたら、そんなことは誰でも実感していること

街のあちこちに「完全参加と平等」と書かれた

教科書問題と沖縄住民虐殺

—記述「復活」に至る政府・文部省の動き— 大城朝次郎

【資料】 虐殺の事実消えない! あいつく証言
—日本軍による沖縄住民虐殺—

わが土地・生活・闘争 —坪反戦地主会への参加を訴える— 平安 常次

県人会35年—闘いの歴史— 大江洲 久

★ニュース クリップ

島ことばの復権 ~国家主義に抗して~ 金城 実

自主・自立の民衆運動の創出を求めて

《第3回 琉球孤島市民・住民運動交流討論集会》 大山 高義

人民新聞を扱って

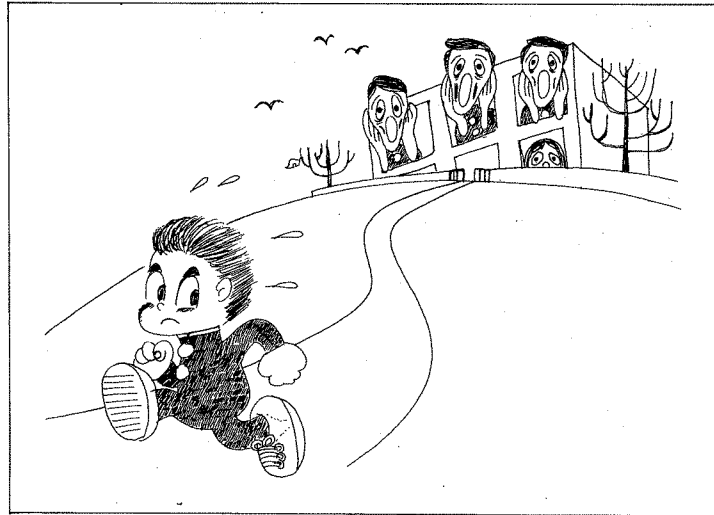
いる書店・喫茶店

- ウサギヤ/北海道帯広市西二条南九〇〇
- らひら/北海道札幌市北区北一八五五北一
- 八条ビル2階/模索舎/東京都新宿区新宿
- 二丁目四九〇番地/コバ書店/東京都目黒区
- 駒場二四一五番地/文鳥堂四谷支店/東京都
- 新宿区四谷一四四番地/吉祥寺ウニタ
- ／東京都武蔵野市吉祥寺本町二二〇一七
- 川崎有隣堂/神奈川県川崎市川崎区小川
- 町一〇番地/ウニタ書店/愛知県名古屋市中
- 千種区山崎三三三番地/茶店ほうぼう
- ／奈良県奈良市学園朝日町四四四番地/曾根崎書
- 店/大阪府北区堂山町一七番地/大阪ウニタ書
- 舗/大阪府天王寺区茶臼山町三三三番地/えび
- すや/大阪府港区夕風一丁目一四四番地/大工
- 大生協書館/大阪府旭区中宮五一一番地
- 一/関大生協書館/大阪府吹田市千里山
- 東三一一〇番地/東京文庫たかまつ/香川県高
- 松市多賀町二二二番地/金栄堂/福岡県
- 北九州市小倉区魚町二四一六



◎投稿歓迎
いまの学校や教育について、いろんな立場からお互いの意見をぶつけ合いませんか。(編集部)

でもない、まず、境界線を彷徨う子どもとの関わりにおいて、責任外におられるシステムになっている。安逸をむさぼれる仕組みと言ったら、語弊をまねくかもしれないが、境界線上に追いやられた彼らは、学校とだけ折合いが悪くなるだけではない。



唾吐き捨てて去ったHくん 何故、純情な子ほど落ちるのか

く、それを契機にして、家庭内での親子のミゾも当然広がっていき。当然、それを契機にして、教師もいる。毎日、子どもの家では異常事態が続いているのに、こうした感覚でいられるのは(無感覚か?)、学校の組織からみれば「それでOK」になっているからである(恐ろしい)。「適材適所」でコトが回転し、子どもの生命線に触れる議題であるうと、校内清掃に関する議題であるうと、会議の雰囲気は特別な緊張感が漂うほどの「差」がなくなりつつある。慣れとは恐ろしいものである。学校での実情については、その一員でもあるので相当詳細な部分にも行き届くが、子どもの家庭での実態については、やはり他所行きの理解しか得られていなかったのかと思う。

H君の弱みにつけ込んだ指導とは、彼を学校から放逐することだった。複雑な家庭事情(この家庭も大なり小なりかかっている)と、本人の「留年はイヤだ」の気持ちに「つけ込んだ」としたら、あまりに犯罪的すぎはしないかと思われる。私の努力は、彼の友人と知人の説得によって、彼をひき戻すことのみで終わってしまった。そして、彼が自力で歩み出すのを待っていた。彼は毎日職員室で勉強して帰った。ところが、先にも言ったように、欠点が出てしまったのである。仮進級制度がない学校なので、一科目の欠点で留級になってしまふ。むろん、安易に留級を出すような仕組みにはなっていないのだが。

彼は純情そのものののだ。だから、留級してふんばるように教師が全身で訴えたら、ひよつとして、彼の心をつかみえたかもしれない。それが私には欠けていた。担任と生徒指導委員に委せて「つまり退学を黙認して」傍観者ですましてしまったことが、H君と響き合えなかった結果になったのだ。「担任ではない自分」に対する甘えが、いけなかった。少年少女が学校に求めているものと教師たちが学校に求めているものとの落差がなんでもこんなにも大きくなってしまったのだらう。大人の社会でよく言う、本音と建前との区別を今や、少年少女たちが、身につけてしまっているのだろうか。

テレビに御用心

去る十一月二十七日、能勢農場が朝日放送の番組「ワイドサタデー」に取材された時の事。キダローと中村鋭一が車で乗りつけて来て長靴と汚ない格好に着替えて、二、三メートル先からさも遠くから歩いて来たようなふりをする。あらかじめ草抜きをし、きれいに耕やされた畑に中村鋭一が玉ネギの苗を二本植えて「腰が痛いすなな」と言う。そして農場代表の加藤青年に「ここに来る前は何をしていたんですか」「大学へ行っていました」「どの大学ですか」「京都大学です」「エーッ京大の何科ですか」「一応工学部です。これと全く同じ会話が先月毎日放送で森乃福郎となされたではないか。パーソナリティかなんか知らないけれど、聞く事はそれだけしかないのか。

しかしエエ加減なのはテレビ局側だけではない。当日の一般農作業従事者はほとんど取材用のサクラで、はじめ農場に来た人も居るのに「時々来はりますか」と聞かれると「ハア月に二、三回は来ます、とても気分がいいので」ナンテヌケヌケと言う。お互いタヌキとキツネ恐れ入りました。ところがこのテレビを見た人が、オモシロソウや一ぺんみんなで行って見ようという事になってはるばるやって来る。そして結果は「あんな汚なくて臭い所、二度とよういかんワ」という事になる(事が多い)。ほんまにテレビには二オイは写らんものな。テレビにはくれぐれも御用心。(大阪・Mさん)

自由の風穴

沢山の人間が居て俺はその中の一人定まらぬ視線の中でみんなお互い窒息寸前ええ加減にせんと氣に狂て死ぬ

簡単に物が在って簡単に手に入らない手に入るところでおまえのものにはなりえないええ加減にせんと氣に狂て死ぬ

も知れないけれど、たとえば私は食べ物に興味を持っていて、バナナに関するスライドを見ました。それでは日本に送るバナナを作るために大量の農薬や化学肥料が使われ、フイリピンを自然破壊して、カビ止めの薬で女性達は素手でバナナを洗っている。そんな事をあなたはご存知ですか。若年失業者のあふれるイギリスで生まれ「怒れる若者達」を代表する音楽として、ヨーロッパで、アメリカで、そして日本で若者の心をとらえています。ヨーロッパでは反核運動、エコロジー運動との結びつきも見られます。

最初に紹介したのは「いぬ」と言うグループの曲です。いつの頃からか、ふつうでない人がふつうの人より多くなった、と感しているのは、私だけではない。この曲を作詞して歌っている町田町蔵さんと一緒に現在「ふな」と言うグループを組んでいる、田村五郎さんに幾つかの質問に答えていた。Q 日本のパンクロックについてどう思いますか。A 本気にやっけないと言うか、方向がちがっていると思う。僕は日本にいて住みにくい事もないし、むしろくちや幸福だ。「おまえが悪い」ではなくて、責任は自分にある、と思う。

Q 日本にいて幸福か。A 悪い所は、良い所もある。Q 悪い所はどこで、良い所は。A 悪い所は意欲な所、良い所は、まあ部分的に進歩だと思ふ所が社会の中にある。

氣に狂て死ぬ！

Q あなたはどんなふうに変えたいのですか。A ただふつうになつてほしい。ふつうでない人が多すぎるから。Q 今の自民党政権をどう思いますか。A 悪い所も、良い所もある。Q 悪い所は意欲な所、良い所は、まあ部分的に進歩だと思ふ所が社会の中にある。

女ひとりで子供を育てる

女性では職場で二番目に高い給料だが、決して流行や宣伝に惑わされず、生命保険等にはお金を使わない。「私が死んだら子供は父親の所か、それがダメなら施設へ行けば良い。」

そう言いながらも彼女の下の子が水痘のため、一週間、会社を休んでいた。「今日は会社から二度も電話がか」



家族構成	
Uさん(40才)	
S子さん(長女・高校生)	
H子さん(次女・2才)	
収入	
給料(タイピスト)	143,000
児童扶養手当(2人分)	35,000
離婚した夫より(Sちゃんの父親)	50,000
	228,000
(他にボーナスが夏1ヵ月、冬1.5ヵ月)	
支出	
食費	55,000
交通費	5,000
家賃	48,300
保育料	4,200
水道・光熱費	20,000
教育費、貯金	50,000
雑費	45,000
	228,000

電車に乗り遅れると遅刻するのだ。また、子づれの女がぐらして行くには同僚とつきあえない事も多い。露骨に仲間はずれにされたりした時、プラ

落ちこぼれ現象とは、裏返せば、こうした「本音」と「建前」を使い

れない子どもたちの(大人でさえも)、効率化重視への警鐘とは見られないだろうか。集団としての学校の存在価値が、進学やスポーツでの「名門校」化をめざしている。「名門」ならんと、われもわれもの競争が果てしなく続く。その背後で、集団からおしのけられた子どもたちが吐き捨てて去っていく。それをふり返る心のゆとりもなくなつたあわれな「風見鶏の群れ」はどこまで落ちてゆくのだろうか。

(兵庫高校教師・M生)

(カットは毎回Tさん)

Q 日本にいて幸福か。A 悪い所は、良い所もある。Q 悪い所は意欲な所、良い所は、まあ部分的に進歩だと思ふ所が社会の中にある。

